



ギリシャはどうなるの？

ギリシャの首相は？

ギリシャで選挙が行われた。EUに従い、緊縮策を進めて来た連立与党が過半数割れ。連立政権樹立が不可能になり再選挙に。

緊縮策は

ギリシャは赤字財政粉飾がバレて、国債償還が危うくなり、EUから融資を受けた。その代償の緊縮策は、公務員一万五千の削減、最低賃金の22%切り下げ、年金縮小、規制緩和など。

かつて南米では

一九九〇年代の南米ではIMF主導の緊縮策で、極端なインフレに陥った。ブラジルでは一時は二九〇〇%の物価上昇。

EUがギリシャに強

制した緊縮策は、結局は一九九〇年代の南米の轍を踏むこと。

一方、日本では

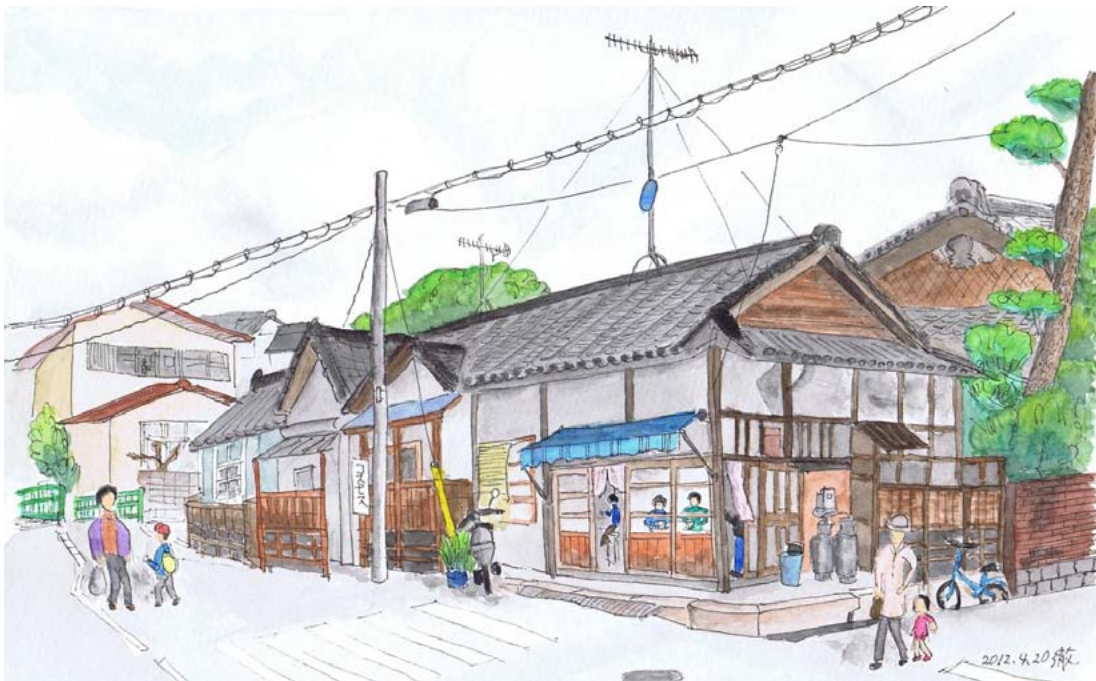
経団連は消費税を19%に上げ、法人税率を現行38%から25%に下げ、社会保障給付抑制を提言。つまり、消費税で庶民からふんだくり、法人税減税に回す。法人税を減らすと、税引き後利益が増え、配当や役員報酬が増える。

野田内閣の云うように、消費税を上げると、庶民の財布がその分だけ小さくなり経済が縮小。景気が悪くなる。それより、福祉充実で景気を向上させ、所得に応じた累進課税で、負担能力に応じた税とすべきではありませんか？

皆さんはどう思われますか？

広島焼きの店になっていた

(呉市吉浦)



住宅街にある小さな家。この家に五歳九月まで住んでいた。今は広島焼きの店になっていた。

当時、父母はここで乾物屋を営んでいた。大きな干鰯が壁にかかっていた。箱にはバラの煮干し。お客がそれを口に入れ、味がどうだこうだと云う。まねをして口に入れたら、苦かった。

壁にグラフ用紙が貼ってあり、斜めに線が引いてあった。父は、分銅を動かして目方を量り、グラフから何円と云っていた。

醤油や酢は20〜30リットルの陶製の樽に入れてあった。木の栓を緩めて杓で量って売っていた。

六十年経った今も、家は昔のたたずまいを残していた。